

Glacial Action News

ローカル×グローバル
高校生の新たな学び方



学校法人 森教育学園

岡山学芸館高等学校



2年生 アンケートの取り方講座の様子

2年次の研究に欠かせない要素を集中的に受講できる連続講座。
希望生徒に対し、本校教員がきめ細かい指導を行っています。

Special Topic

1年生の学びがスタートしました!

グローバル課題研究Ⅰの授業の特徴は、何といてもシャッフルクラスでの学びです。すべての科・コースがシャッフルされて同じクラスにいるので、自分とは違う多様な価値観や考え方が議論の中で出てきます。1学期では時事問題に触れながら分析力や協働性、メタ認知力を養っていき、2学期からはある程度の枠組みの中で課題研究の実践を行っていきます。

情報収集力と分析力を高める

情報にあふれる現代の社会には信頼できる情報とそうでない情報が混在しています。では、どのようにして「正しい情報」を



判断すれば良いのでしょうか? グローバル課題研究の授業では PC やスマートフォンを積極的に用いた ICT 教育を行っており、情報の取捨選択は必須スキルとなります。グラフを読み取る上での注意点を学び、分析力を高めるとともに、班対抗戦のワークショップを行いながら信頼できる情報を収集する術を学んでいきました。

「問い」を立てよう

課題研究の授業では社会にある問題や身の回りにある何気ない日常から「課題」を発見しなければ先に進みません。課題を発見しても、調べれば済むことであればそれ



は調べ学習の域を越えず、探究とはなり得ません。「問い」の種類には原因を問う問いや信ぴょう性を問う問い、先行研究や事例を問う問いなど様々あります。こうした「問い」を繰り返していき、答えのない問いにたどり着いたときに課題研究の「問い」へと昇華します。今回はウクライナ難民問題を通して、クエスチョンマッピングの手法を用いて探究テーマとなり得る「問い」をみつけていきました。





令和4年度 グローバルⅡ19ゼミの ご紹介

高校2年生が希望どおりのゼミに入り、研究をスタートしました。ゼミ選択では、昨年度先輩の研究発表を聞いて興味が沸いた、過去に頓挫したテーマに再挑戦など、自分自身の興味関心を分析し、それを将来に繋げるためにゼミを選択する姿が印象的でした。

留学中の英語科2年生はグローバルⅡの授業には参加しませんが、オンラインで課題研究を進め、帰国後の報告会から合流します。



国際観光・地域観光ゼミ

コロナ禍（アフターコロナ）における今後の旅行業・観光業のあり方について考えることを目的とする。また、地域活性化のために行っている官民の取り組みについて、現地調査を行い、どうすれば地域に人を呼び込むことができるかを研究していく。



ソーシャルビジネスゼミ

自身の興味関心のある社会問題を構造的にとらえる過程でビジネスチャンスを見つける。市場性や持続可能性に注目したビジネスプランを策定し、各種ビジネスアイデアコンテストで客観的な評価を受けることを目的とする。高校生にトライできることであれば、そのプランを実行に移す。



次世代教育探究ゼミ

小学校でSDGsをテーマとした出前授業を展開。社会問題解決に向けてできることを小学生と一緒に考え、具体的な行動を促していく。今年度は、より多くの小学校で授業を行えるよう、対面とオンラインのどちらにも対応できる授業づくりを行う。



多文化共生ゼミ

外国籍の人々、障がい者、LGBTQ、難民等、マイノリティと呼ばれる人々は、アイデンティティや語学等様々な課題を抱えて日本社会で暮らしている。彼らとの共生社会実現のため高校生ができることを探究する。



幼児教育ゼミ

保育園・幼稚園、家庭、地域社会など、子育て・幼児教育に関するあらゆる環境やツールの中から課題を見つけ、その解決策や提案について考える。少子化の先にある幼児教育の未来を考え、すべての子どもたちが健全に育つ世の中を目指し、自分たちにできることを探る。



スポーツ社会ゼミ

スポーツの持つ社会性に着目し、まちづくり、コミュニティ、地域スポーツ、プロスポーツなど、スポーツが持つ可能性を多様な面から考察する。



芸術(デザイン・音楽)ゼミ

デザインや音楽という芸術分野を通して、身近な社会課題を解決しようと挑戦する。『演奏する・描く・創造する』など芸術系の自分の得意技能を活かし、芸術について学術的に深める。また、幼児教育、福祉関係や地域活性などのゼミや企業と積極的にタイアップして活動する。



政治・経済ゼミ

公共政策に焦点を当て、現在採用されている政策の調査研究、課題の発見、仮説の構築から取材、アンケートによる検証、考察までを行う。高校生でもできる政策提言や啓発活動を実践する。



地域活性化ゼミ

本校の近隣にあるレトロな街並みを残した『五福通り』を地域活性化の資源とした地域活性化を行う。研究の目的は西大寺地区の高校生が地域との関わりを深めた関係人口として増加することを目指し、研究や活動を実施する。



国際協力とアフリカゼミ

国際協力やアフリカに関して課題を探究するゼミ。日本からのアプローチを学ぶ過程で、日本から海外とかわる人や団体、縁のあるセネガル人と活動することもある。将来の仕事や大学での研究につながる活動を目指す。



社会福祉システムデザインゼミ

少子高齢化が進むなかで、日本の高齢者福祉・子どもの福祉は様々な課題を抱えています。岡山市東区の福祉問題の現状を考察していきながら、これからの新たな福祉社会のあり方について研究します。



シミュレーション活用ゼミ

シミュレーション活用ゼミでは経済分野や自然科学、工学関係など、幅広い分野の課題をシミュレーションを用いて予測や考察を行う。グループごとに実験をしたり、情報を収集したりと様々な手法で課題解決に挑む。



国際社会・人文地理ゼミ

(地理) 様々な地域における文化や伝統あるいは街並みや景観などを人文地理学の視点から比較検討し考察する。(国際社会) 政治、文化、宗教など様々な切り口から世界の今を見つめ、未来をどのように創るかを考察する。(歴史) 歴史「を」学ぶではなく、歴史「に」学ぶことで「歴史をもとに、未来を考察」していく。



自然環境調査ゼミ

自然環境・動植物・環境問題を対象とする。大学の理系学部で取り組む仮説検証型探究活動を目指す。実験またはフィールドワーク(圃場)を中心にしたい。



法律・司法ゼミ

憲法・刑法・民法等を通して、法律の基礎を学び、社会現象を法的に捉える能力(リーガルマインド)を養います。確かな知識を身に付け、何が正義で何が悪か。自分の意見を持つようになりましょう。



物質科学ゼミ

私たちの身の回りには様々な化学物質があふれている。これらの物質は私たちの生活を豊かにしている一方で、さまざまな弊害ももたらしている。そういった化学物質の性質を、実験を通じて明らかにしていき、よりよい社会を目指すことを目標としている。



医療・看護ゼミ

医療問題、医療向上、健康増進のために高校生ができることを探究するゼミ。探究を通して『将来、自分自身がどのように医療を通して社会貢献をするか』を具体的に確立することを目的としている。



海洋研究ゼミ

ゼミ全体で「海・干潟の生物多様性を保全する」をテーマに干潟でのベントス調査や、アマモの成長に関する研究を行っている。また、一人ひとりが海に関わる事象や課題の解明・解決に向けて調査や研究活動に取り組み、学会などで成果発表を重ねる。



栄養・保健ゼミ

SDGsの項目2「飢餓をゼロに」、3「すべての人に健康と福祉を」に焦点を当て、身の回りから地域の課題を見つけ、高校生の立場で課題解決への糸口を探る。また、食事や栄養補給の観点からスポーツ分野を探究する。



EIGOKAゼミ(カナダ留学中)

カナダで学ぶ地の利を生かし、「学校の国際比較」、「多文化共生」、「ホームレス問題」をはじめ、「働くこと」、「キャッシュレス決済」など、日本とカナダにある、多岐に亘る共通の社会課題に着目し、調査探究し、「高校生ができること」を模索、活動していく。

Topic 1 課題研究活動をけん引するエリート集団! 生徒主体の研究活動へ! ゼミ長会発足!

2年生の研究活動について、今年度から新たな組織が誕生しました。その名は『ゼミ長会』。本校の研究活動が、ますます生徒主体になり、大人たちにはない若いパワーと柔軟な思考で、さらにレベルアップすることを期待しています。

ゼミ長には、各ゼミに所属する意欲的な



生徒が選出され、ゼミ長たちは各ゼミでリーダー的役割を果たします。定期的開催されるゼミ長会では、各ゼミの進捗状況の共有や意見交換を行います。志の高いゼミ長どうしの活発な交流によって、ゼミ長自身の研究がさらに発展するとともに、そこで得られた情報を所属ゼミのメン



バーに還元することで、各ゼミ活動の活性化が期待されます。

ゼミ長制度のもう一つの大きな野望は、ゼミ長どうしの交流をさらに発展させて、文理・異分野融合の共同研究を実現させることです。異なる研究分野で活動しているゼミ長たちの協働によって、新たな学術的価値を創造する。この試みは、将来、大学や大学院において大型研究プロジェクトに参加する際に大いに役に立つ貴重な体験になるでしょう。この壮大な夢物語の成果については、年度末をお楽しみに!

Topic 2 高校3年生の課題研究「グローバルIII」の取り組み 課題研究活動の集大成へ向けて!

3年生は課題研究活動で学んだことを高校卒業後の社会で貢献するために、これまでの研究ポスターやレポートを振り返り、学びの再策定を行っています。

大学や専門学校で学べることを知ろう!

進学を目指す3年生はこれまでの課題研究活動をきっかけに、高校卒業後に何を学びたいかを考えます。最初のステップとして大学や専門学校に通う先輩がどんな授業を履修しているのか、さらにはどんな



テーマで研究を行っているのかを調べ、来年度に自身が活動している姿の想像を膨らませます。また一步踏み込んで活動をしている生徒は、興味関心のある分野の大学教授の論文を検索し、自身の今後の研究テーマの再設定を実施しています。

自分の「強み」を知ろう!

1・2年次の課題研究活動を振り返り、自身はどんな活躍をしてきたのか、どんな強い思いを持って活動をしてきたのかを

書き出します。これまでの活動を振り返り、自身の立ち居振る舞いから今後に生かすべき反省点を見つけることができます。

生徒達はこの振り返りをもとに、課題研究を共に取り組んできた仲間とディスカッションをしています。このことも授業の大きな特徴です。自分ひとりでは気づきもしなかった、成長した点や、自身の強みを発見することができます。3年生はこれらの「強み」を武器に希望の進路実現にむけた活動を続けています。

